

平成27年度 愛知県学校図書館研究会高等学校部会 西三河地区研究会

第2回 研究会 報告

第2回研究会は11月26日豊田市中央図書館にて実施しました。研究発表第一部は、「言葉を届ける——語りを聴いてみませんか」という題の講演でした。講師は、全日本語りネットワーク会員、豊田市在住のうめむらまり氏で、小学校低学年向けの「島ひき鬼」、小学校高学年から中学生向けの「かっぱの目玉」、高校生から大人向けの「ひめねずみとガラスのストーブ」の3つの演目を「ひとり語り」されました。声の調子、リズム、間の取り方など、「語り」の豊かな表現力に驚き、そしていつの間にか「語り」の魅力に引き込まれ、そのすばらしさを体験することができました。



研究発表第二部は、図書館の職員による館内ガイドツアーでした。閉架図書は66万冊もあり、図書館で普段目に触れる本は、蔵書のほんの一部であるということに驚かされました。図書館の裏の役割と仕事を垣間見ることができ、大変勉強になりました。また、「図書館の職員が選んだおすすめの本の1冊コーナー」なども、私たち学校図書館に携わる

ものにとって、大変刺激になりました。

大都市の公立図書館と学校図書館とはもちろん規模は違いますが、いろいろ参考になる点が多い、館内ガイドツアーでした。

第3回 研究会 報告



第3回の研究会は1月27日西尾市岩瀬文庫にて実施しました。前半の研究協議は、事前アンケート結果による情報交換会でした。事前アンケートでは「読書会・ブックトーク・ビブリオバトル」、「生徒の貸し出し増加」についての質問が多く、その話題を中心として、刈谷東高校の林田先生、岡崎北高校の畔柳先生から、さまざま

な助言をいただきました。参考になるアイデアや知りたかった情報について、活発な意見交換ができ、有意義な時間となりました。

後半は、岩瀬文庫の学芸員さんの案内による「詩人茨木のり子とふるさと西尾」展の視察でした。西尾市で青春時代を過ごされた茨木さんの「詩の世界」に触れ、また愛用品や原稿など数々の展示物を、詳しい説明とともに見学することができました。どの展示物も、茨木さんの人となりを感じることができる貴重なものばかりで、見学の時間があっという間に過ぎてしまいました。

